

プログラム

2011年5月23日

開会挨拶 13:30～13:35

日本ケミカルバイオロジー学会 会長 長野哲雄(東京大学)

年会長挨拶 13:35～13:40

日本ケミカルバイオロジー学会 第6回年会長 半田宏(東京工業大学)

セッションA 13:40～14:32

座長: 戸嶋一敦(慶應義塾大学) 細谷孝充(東京医科歯科大学)

分子間相互作用

O-01 13:40～13:53

一粒子蛍光分析を応用した新しい病原因子検出機器の開発

○長谷川慎¹⁾、伊藤正恵¹⁾、白井伸明²⁾、武居修³⁾

¹⁾長浜バイオ大学・院、²⁾滋賀県工業技術総合センター、³⁾株式会社ライフテック

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

O-02 13:53～14:06

コイルドコイル蛍光ラベル法を用いた生細胞膜受容体の内在化・会合のイメージング解析

○矢野義明、竹田有希、河野健一、大前薫、松崎勝巳

京都大学大学院薬学研究科

O-03 14:06～14:19

フラレン誘導体によるHIV-1プロテアーゼの選択的光分解とHIV-1増殖抑制効果

○谷本周穂¹⁾、工藤恵理子²⁾、岡田誠治²⁾、高橋大介¹⁾、戸嶋一敦¹⁾

¹⁾慶應義塾大学理工学部応用化学科、²⁾熊本大学エイズ学研究センター 予防開発分野

O-04 14:19～14:32

アゾリン化合物ライブラリの構築を見据えたヘテロ環化酵素PatDの基質許容性評価

○伊藤悠美¹⁾、後藤佑樹²⁾、林勇樹²⁾、菅裕明²⁾

¹⁾東大院工、²⁾東大院理

休憩 14:32～14:40

ワークショップ 14:40～15:40

座長: 大和隆志(エーザイ)

ケミカルバイオロジーにおける産学連携

登壇者: 吉野公一郎 (カルナバイオサイエンス)

辻尚志 (味の素製薬)

西村伸太郎 (アステラス製薬)

高橋孝志 (東京工業大学)

細谷孝充 (東京医科歯科大学)

石井康彦 (文部科学省研究振興局 ライフサイエンス課)

岡田正孝 (経済産業省生物化学産業課)

文部科学省 (研究環境・産業連携課) (順不同)

休憩 15:40～15:50

特別講演1 15:50～16:40

座長：鈴木啓介(東京工業大学)

特異ターゲットを有する微生物代謝産物の発見

大村智

北里大学名誉教授

休憩 16:40～16:45

特別講演2 16:45～17:35

座長：高橋孝志(東京工業大学)

TLR4シグナル伝達阻害薬TAK-242(resatorvid)の創薬研究

長屋秀明

武田薬品工業 医薬研究本部生物研究所

懇親会 17:45～19:15 (くらまえホール)

2011年5月24日

セッションB 9:15～10:59

座長：浅井章良(静岡県立大学) 森正明(武田薬品工業)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

O-05 9:15～9:28

縮環インドール構造を有する新規Eg5阻害剤の開発

○竹内智起¹⁾、大石真也¹⁾、渡部敏明¹⁾、大野浩章¹⁾、浅田直也¹⁾、北浦和夫¹⁾、澤田潤一²⁾、浅井章良²⁾、藤井信孝¹⁾

¹⁾京都大学大学院薬学研究科、²⁾静岡県立大学大学院薬学研究科

O-06 9:28～9:41

新規MEK1/2阻害剤、SMK-17の抗腫瘍活性

○木我真基^{1,3)}、丹澤文恵¹⁾、岩崎志保¹⁾、稲葉誌¹⁾、藤原康策¹⁾、岩垂勇人¹⁾、越後友希¹⁾、中村勇二²⁾、柴田智之²⁾、鈴木佳奈恵²⁾、安松勲¹⁾、中山綾子³⁾、笹澤有紀子³⁾、田代悦³⁾、井本正哉³⁾、蔵方慎一²⁾

¹⁾第一三共(株)葛西RDセンター、²⁾第一三共(株)品川RDセンター、³⁾慶應義塾大学理工学部

O-07 9:41～9:54

ゼブラフィッシュの行動を指標にした中枢神経作用薬のハイスループットスクリーニング

○西村有平^{1,2,3,4)}、今鉄男¹⁾、梅本紀子¹⁾、張孜¹⁾、伊藤早紀¹⁾、岡森加奈¹⁾、張貝貝¹⁾、黒柳淳哉¹⁾、島田康人^{1,2,3,4)}、田中利男^{1,2,3,4)}

¹⁾三重大学大学院医学系研究科薬理ゲノミクス、²⁾三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター、³⁾三重大学ベンチャービジネスラボラトリー メディカルケモゲノミクス、⁴⁾三重大学新産業創成研究拠点 オミックス医学研究室

- O-08 9:54~10:07**
環境応答性蛍光基を活用したPKCリガンドのorthogonal screening methods
 大橋南美¹⁾、野村渉¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、奥田善章^{1,2)}、伊倉貞吉²⁾、伊藤暢聡²⁾、Nancy E. Lewin³⁾、糸谷恭子¹⁾、Peter M. Blumberg³⁾、○玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究部、³⁾ Center for Cancer Research, NCI, NIH
- O-09 10:07~10:20**
創薬オープンイノベーションの推進
 ○小島宏建¹⁾、岡部隆義¹⁾、長野哲雄^{1,2)}
 東京大学 ¹⁾創薬オープンイノベーションセンター、²⁾大学院薬学系研究科
- O-10 10:20~10:33**
リゾホスファチジルセリン受容体サブタイプ特異的リガンドの創製
 ○井久保仁也¹⁾、尾谷優子¹⁾、首藤啓明²⁾、奥谷倫世²⁾、北村一²⁾、巻出久美子²⁾、井上飛鳥²⁾、青木淳賢²⁾、大和田智彦¹⁾
¹⁾東京大学大学院薬学系研究科、²⁾東北大学大学院薬学研究科
- O-11 10:33~10:46**
天然物類似低分子群の迅速合成と構造多様化: 熱帯感染症リード化合物の創製
 ○大栗博毅¹⁾、比留間貴久¹⁾、山岸裕¹⁾、及川英秋¹⁾、石山亜紀²⁾、乙黒一彦²⁾、山田陽城²⁾、大村智²⁾
¹⁾北海道大学大学院理学研究院、²⁾北里大学北里生命科学研究所
- O-12 10:46~10:59**
HDAC8選択的阻害薬の創製とその応用
 ○鈴木孝禎^{1,2)}、太田庸介¹⁾、坂東優篤³⁾、白髭克彦³⁾、李政樹⁴⁾、飯田真介⁴⁾、上田龍三⁴⁾、中川秀彦¹⁾、宮田直樹¹⁾
¹⁾名古屋市立大学大学院薬学研究科薬化学分野、²⁾科学技術振興機構さきがけ、³⁾東京大学分子細胞生物学研究所ゲノム情報解析研究分野、⁴⁾名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学分野

企業プレゼンテーション 10:59~11:14
 パーキンエルマー・ジャパン

休憩 11:14~11:23

ポスターブリーフィングA 11:23~12:25
 座長: 坂本聡(東京工業大学) 吉田優(東京医科歯科大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

P-001	境倫宏	P-015	尾崎太郎
P-003	糺本大和	P-017	大橋南美
P-005	斉藤毅	P-019	加納ふみ
P-007	福元謙太郎	P-021	鈴木聡文
P-009	澤田潤一	P-023	小嶋達矢
P-011	石川直樹	P-025	滋野敦夫
P-013	湯浅磨里	P-027	徳永恵津子

化学合成を基盤とした研究

P-029	河村奈緒子	P-043	宍戸美華
P-031	峯岸秀充	P-045	平田智也
P-033	相馬洋平	P-047	小嶋良輔
P-035	出水庸介	P-049	榊原紀和
P-037	小林瞬	P-051	白土渉
P-039	松下尚嗣	P-053	中川秀彦
P-041	白石拓也		

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

P-055	奥野友紀子	P-071	向井秀仁
P-057	三須良介	P-073	安田ゆかり
P-059	八木浩亮	P-075	森あつみ
P-061	田代悦	P-077	坂田未希
P-063	坂本修一	P-079	松戸真理子
P-065	石井浩介	P-081	岡田潔
P-067	岡本真由美	P-083	和田章
P-069	竹村拓馬	P-085	伊藤環

分子間相互作用

P-087	山本竜也	P-095	野村渉
P-089	能代大輔	P-097	鈴木貴大
P-091	釘宮章光	P-099	猪ノ口裕二
P-093	松野充宏		

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

P-101	隅田有人	P-109	寺井琢也
P-103	内之宮祥平	P-111	坂部雅世
P-105	堀雄一郎	P-113	明珍琢也
P-107	馬場玲輔	P-115	山越博幸

その他

P-117	大和隆志	P-121	今鉄男
P-119	二宮賢介	P-123	中村重孝

世話人会 12:25～13:45 (百年記念館 3階 フェライト記念会議室)

ポスターセッションA 13:45～14:50 (百年記念館 1階)

移動 14:50～15:00

特別招待講演 15:00～16:00

座長: 半田宏(東京工業大学)

Roles of non-coding RNAs

Phillip A. Sharp

Koch Institute for Integrative Cancer Research,

Massachusetts Institute of Technology

休憩 16:00～16:10

セッションC

16:10~17:54

座長：萩原正敏(京都大学) 中村浩之(学習院大学)

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

O-13 16:10~16:23

アクチン脱重合物質による腫瘍細胞へのアポトーシス誘導活性の解析

○大野修¹⁾、森田真布¹⁾、北将樹²⁾、木越英夫²⁾、照屋俊明³⁾、末永聖武¹⁾

¹⁾慶應義塾大学理工学部、²⁾筑波大学大学院数理物質科学研究科、³⁾琉球大学教育学部

O-14 16:23~16:36

ダイオキシン-ダイオキシン受容体によるT細胞分化制御機構の解明

○木村彰宏¹⁾、吉村昭彦¹⁾

¹⁾慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

O-15 16:36~16:49

新規PGJ2標的因子の同定とその骨代謝制御機構の解明

前川尚也^{1,2)}、伊崎美加^{1,2)}、深山優子^{1,2)}、福井由宇子¹⁾、平本正樹^{1,3)}、
安藤秀樹⁴⁾、坂本聡⁴⁾、小林雄一⁴⁾、半田宏⁴⁾、○今井剛^{1,2)}

¹⁾国立長寿医療研究センター、²⁾東京工業大学、³⁾国立国際医療研究センター

O-16 16:49~17:02

オカダ酸結合タンパク質OABP2.1の構造解析

○福沢世傑¹⁾、牧野満理瑛¹⁾、児玉公一郎¹⁾、江原晴彦²⁾、伊藤拓宏²⁾、
関根俊一²⁾、横山茂之²⁾、橘和夫¹⁾

東大院理

O-17 17:02~17:15

骨格筋におけるステロイドホルモンシグナルと栄養シグナルのクロストーク

○清水宣明¹⁾、吉川賢忠^{1,2)}、丸山崇子¹⁾、田中廣壽^{1,2)}

¹⁾東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 免疫病態分野、²⁾同
附属病院 アレルギー免疫科

O-18 17:15~17:28

ツブイボタケ (*Thelephora vialis*) 含有 TNF- α 発現阻害物質 vialinin 類
の RBL-2H3 細胞における標的分子に関する研究

○吉岡泰淳¹⁾、叶躍奇¹⁾、矢嶋俊介²⁾、矢島新³⁾、越野広雪⁴⁾、高橋俊哉⁴⁾、
谷口佳代子³⁾、岡田潔²⁾、菅谷紘一¹⁾、小野瀬淳一¹⁾、阿部尚樹¹⁾

¹⁾東農大応生科・栄養、²⁾東農大応生科・バイオ、³⁾東農大応生科・醸造、
⁴⁾理研

O-19 17:28~17:41

Akt阻害剤によるAkt活性化メカニズムの解明

○奥住竜哉^{1,2)}、Dorothea Fiedler²⁾、Chao Zhang²⁾、Daniel Gray²⁾、
Brian Aizenstein³⁾、Randy Hoffman³⁾、Kevan Shokat^{2,4)}

¹⁾味の素製薬株式会社(現所属)、²⁾カリフォルニア大学サンフランシスコ校、
³⁾インビトロジェン、⁴⁾カリフォルニア大学バークレー校

O-20 17:41~17:54

骨粗鬆症薬アミノビスフォスフォネートの新規標的タンパク質の解析

○坂本聡¹⁾、政池由佳²⁾、廣田雅隆¹⁾、山田丈¹⁾、高木毅¹⁾、石原聡²⁾、澤智華³⁾、加部泰明⁴⁾、相良洋⁵⁾、半田宏^{1,2)}

¹⁾東京工業大学 大学院生命理工学研究科 生命情報専攻 ²⁾東京工業大学 ソリューション研究機構、³⁾聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター、⁴⁾慶應義塾大学 医学部、⁵⁾東京大学 医科学研究所

2011年5月25日

セッションD 9:00~10:31

座長：林雄二郎(東京理科大学) 奥住竜哉(味の素製薬)

化学合成を基盤とした研究

O-21 9:00~9:13

ペプチドトランスポーターを標的とした新規癌イメージング剤の開発

○喜多村徳昭¹⁾、中村健祐¹⁾、原有美¹⁾、山崎美貴¹⁾、伊藤匡彦¹⁾、村上佳裕²⁾、西村伸太郎^{2,3)}、北出幸夫^{1,3)}

¹⁾ 岐阜大学大学院工学研究科、²⁾ アステラス製薬(株) バイオイメージング研究所、³⁾ 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

O-22 9:13~9:26

合成糖鎖基質を用いた糖鎖プロファイル再構成による疾患評価

○戸谷希一郎¹⁾、岩本将吾¹⁾、磯山美穂¹⁾、伊藤幸成^{2,3)}

¹⁾成蹊大理工、²⁾理研基幹研、³⁾ERATO-JST

O-23 9:26~9:39

ノビレチンの全合成とプローブ分子化

○飛坐愛輝¹⁾、浅川倫宏¹⁾、濱島義隆¹⁾、菅敏幸¹⁾

¹⁾静岡県大薬

O-24 9:39~9:52

ペプチドグリカン部分構造を含む免疫アジュバント複合体の創製

○加治木泰範¹⁾、勝本麻美¹⁾、瀬谷司²⁾、猪原直弘³⁾、藤本ゆかり¹⁾、深瀬浩一¹⁾

¹⁾阪大院理、²⁾北大院医、³⁾ミシガン大医

O-25 9:52~10:05

βグルカン関連糖鎖の合成とその機能評価

○河合徹也¹⁾、田中浩士¹⁾、安達禎之²⁾、花島慎弥³⁾、山口芳樹³⁾、大野尚仁²⁾、高橋孝志¹⁾

¹⁾東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻、²⁾東京薬科大学薬学部、³⁾理化学研究所基幹研究所ケミカルバイオロジー研究領域

O-26 10:05~10:18

新規蛍光団TokyoMagenta類の創製および赤色蛍光プローブへの展開

○江川堯寛¹⁾、花岡健二郎¹⁾、小出裕一郎¹⁾、長野哲雄¹⁾

¹⁾東京大学大学院薬学系研究科

O-27 10:18~10:31

架橋性オリゴ核酸による遺伝子発現制御

○萩原伸也、井本修平、堀常晃、CHAO, Xiau-guang、永次史
東北大学 多元物質科学研究所

休憩

10:31~10:35

セッションE

10:35~11:53

座長：江口正(東京工業大学) 品川朗(第一三共)

その他：ケミカルゲノミクス、メタボロミクス、システムバイオロジー、バイオインフォマティクスなど

O-28 10:35~10:48

人工ジंकフィンガー型転写因子による細胞時計の位相制御

○今西未来¹⁾、中村篤史¹⁾、土居雅夫²⁾、二木史朗¹⁾、岡村均²⁾
¹⁾京都大学化学研究所、²⁾京都大学大学院薬学研究科

O-29 10:48~11:01

DNAオリガミ上でのDNA分子の移動の精密な操作

○遠藤政幸^{1,3)}、勝田陽介²⁾、日高久美²⁾、S. Wickham⁴⁾、J. Bath⁴⁾、
A. D. Turberfield⁴⁾、杉山 弘^{1,2,3)}

¹⁾京大物質-細胞統合システム拠点、²⁾京大院理、³⁾JST CREST、⁴⁾オックスフォード大物理

O-30 11:01~11:14

Chemical treatment enhances skipping of a mutated exon in the *dystrophin* gene

○片岡直行¹⁾、西田篤史²⁾、竹島泰弘²⁾、八木麻理子²⁾、栗野宏之²⁾、
大田光徳²⁾、伊東恭子³⁾、松尾雅文²⁾、萩原正敏¹⁾

¹⁾Department of Anatomy and Developmental Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, ²⁾Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, ³⁾Department of Pathology and Applied Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine

O-31 11:14~11:27

コンパクト分子プローブを用いる生理活性物質の標的探索

○上田 実
東北大学大学院理学研究科

O-32 11:27~11:40

核酸の分子認識を利用した新規フッ素核磁気共鳴イメージングプローブの創製

○坂本隆¹⁾、早川輝¹⁾、清水勇喜¹⁾、佐々木淳¹⁾、藤本健造^{1,2)}

¹⁾北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科、²⁾北陸先端科学技術大学院大学 バイオアーキテクチャー研究センター

O-33 11:40~11:53

組換えアデノウイルスバンクの開発

○中出浩司、栗原千登勢、村田武英、小幡裕一
理化学研究所 バイオリソースセンター遺伝子材料開発室

総会 11:53~12:10

休憩 12:10~13:10

ポスターブリーフィングB 13:10~14:11

座長: 田代悦(慶應義塾大学) 高橋大介(慶應義塾大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

P-002	増田吉昭	P-016	鳴海哲夫
P-004	藤巻貴宏	P-018	新井啓之
P-006	松井知野	P-020	樋口岳
P-008	小郷尚久	P-022	坂本裕樹
P-010	植村健二	P-024	塚越匠
P-012	中村竜也	P-026	中野雄司
P-014	橋本知恵	P-028	吉岡幸江

化学合成を基盤とした研究

P-030	高麗洋佑	P-042	清家俊輔
P-032	山田愛	P-044	神戸千秋
P-034	藤井政幸	P-046	中島幸彦
P-036	武藤拓也	P-048	岡田あゆみ
P-038	真喜志紳吾	P-050	小倉圭司
P-040	佐伯昭典	P-052	足土順一

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

P-054	南川裕樹	P-072	棚橋一晃
P-056	田中弦	P-074	相馬晃
P-058	辻巖一郎	P-076	伊藤拓水
P-060	竹入雅敏	P-078	唐澤慧記
P-062	奥澤俊介	P-080	篠倉潔
P-064	廣明秀一	P-082	山崎有理
P-066	海野雄加	P-084	有田祐子
P-068	宇都芳一	P-086	飯泉陽介
P-070	平山裕一郎		

分子間相互作用

P-088	小堀哲生	P-094	土井公太
P-090	河野健一	P-096	卜部亜里沙
P-092	高橋道子	P-098	梶野雅起

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

P-100	鈴木雄太	P-108	増田朱美
P-102	菅野貴美幸	P-110	花岡健二郎
P-104	三浦拓也	P-112	平林和久
P-106	秋元悠里	P-114	佐藤仁志

その他

P-116	伏木洋司	P-120	田邊思帆里
P-118	東佑翼	P-122	和泉博

ポスターセッションB 14:11~15:15 (百年記念館 1階)

移動 15:15~15:20

セッションF

15:20～16:51

座長: 井本正哉(慶應義塾大学) 村上佳裕(アステラス製薬)

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

O-34 15:20～15:33

熱ショック転写因子活性化とRaf-1分解を選択的に惹き起こす、クライアント選択的なHsp90阻害剤ITZ-1の発見

○木村温英、行武 洋、田島泰一、鈴木博文、千勝智子、森本真二、舟橋康昇、大前弘明、伊藤隆司、瀧澤正之
武田薬品工業株式会社・医薬研究本部

O-35 15:33～15:46

HIF阻害剤GN26361の作用機序:HSP60阻害によるHIF-1 α の安定化抑制

○潘鉉承、清水一希、峯岸秀充、中村浩之
学習院大学理学部

O-36 15:46～15:59

ケミカルバイオロジー研究の副産物

○川添嘉徳¹⁾、下川浩輝¹⁾、白川貴詩²⁾、上杉志成^{1,2)}

¹⁾京都大学化学研究所、²⁾京都大学物質-細胞統合システム拠点

O-37 15:59～16:12

DNA中8-oxodGと非天然型塩基対可能な人工核酸の開発

○谷口陽祐^{1,2)}、河口亮太¹⁾、古賀洋平¹⁾、佐々木茂貴^{1,2)}

¹⁾九大院薬、²⁾CREST (JST)

O-38 16:12～16:25

核内構造体(核スペックル)の形成と選択的スプライシングの低分子化合物による制御

松尾陽太¹⁾、三原由揮¹⁾、糺本大和¹⁾、八木浩亮¹⁾、上原裕也¹⁾、岩本はる香¹⁾、萩原正敏²⁾、五十嵐雅之³⁾、○谷時雄¹⁾

¹⁾熊大院・自然科学、²⁾京大院・医、³⁾微生物化学研究所・生物活性

O-39 16:25～16:38

ヘム/COによるGAPDHを介した細胞防御機構の解明

○加部泰明¹⁾、半田宏²⁾、末松誠¹⁾

¹⁾慶應義塾大学医学部・JST ERATO、²⁾東京工業大学生命理工学研究科

O-40 16:38～16:51

糖鎖プライマー法を用いたC型肝炎ウイルスの遺伝子の複製に関する糖鎖の解析

○佐藤智典¹⁾、片野直哉¹⁾、鈴木哲朗²⁾

¹⁾慶應義塾大学理工学部、²⁾浜松医科大学医学部

ポスター賞表彰式

日本ケミカルバイオロジー学会 第6回年会長

半田宏(東京工業大学)

閉会の辞

2011年5月24日・25日

ポスターブリーフィング 24日 11:23～12:25 (70周年記念講堂)
25日 13:10～14:11 (70周年記念講堂)

ポスター発表 24日 13:45～14:50 (百年記念館 1F)
25日 14:11～15:15 (百年記念館 1F)

- 分野: 1. 化合物スクリーニング、創薬に関する研究:ケミカルライブラリー、創薬候補化合物
2. 化学合成を基盤とした研究:プローブ設計と合成など
3. 化合物の作用機構、標的分子に関する研究:
ターゲット探索研究(手法の開発、実施例)、シグナル伝達、分子プローブの動態研究
4. 分子間相互作用:分子認識、ケミカルセンサー
5. ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究:分子イメージングの基盤研究と応用など
6. その他:ケミカルゲノミクス、メタボロミクス、システムバイオロジー、バイオインフォマティクスなど

◎発表日は、奇数演題番号が24日、偶数演題番号が25日となります。

◎*印は、ポスター賞応募者です。

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

P-001 Dysibetaine CPa の全合成

○境 倫宏¹⁾、佐々木翔太¹⁾、酒井隆一²⁾、及川雅人¹⁾

¹⁾横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科、²⁾北海道大学大学院水産科学研究院

P-002 *In silico*スクリーニングによるSTAT3阻害剤の探索

○増田吉昭^{1,2)}、室谷歩¹⁾、高橋理¹⁾、横田川高峰¹⁾、古谷利夫¹⁾、松野研司²⁾、上原裕²⁾、大川原正³⁾、大塚雅巳⁴⁾、小郷尚久⁵⁾、芦澤忠⁶⁾、秋山靖人⁶⁾、浅井章良²⁾

¹⁾株式会社ファルマデザイン、²⁾静岡県大院・薬、³⁾熊本保健科学大、⁴⁾熊本大院・薬、⁵⁾静岡県環衛研、⁶⁾静岡がんセンター研

* P-003 mRNAの核外輸送を阻害する低分子化合物のスクリーニング

○糀本大和¹⁾、三原由揮¹⁾、松尾陽太¹⁾、五十嵐雅之²⁾、斎藤臣雄³⁾、谷時雄¹⁾

¹⁾熊本大・院・自然科学・生命科学、²⁾微生物化学研究所・生物活性、³⁾理化学研究所・基幹研究所・ケミカルバイオロジー研究基盤施設

* P-004 新規アンドロゲンアンタゴニストの探索と薬理活性評価

○藤巻貴宏、鳥居健太郎、河村達郎、小林大貴、田代悦、井本正哉
慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科

* P-005 ビアリアルヘプタノイドの合成と生物活性評価

○斉藤毅¹⁾、渡邊浩太郎¹⁾、石川裕一¹⁾、車炳允²⁾、禹濟泰²⁾、西山繁¹⁾

¹⁾慶應義塾大学理工学部化学科、²⁾中部大学応用生物学部応用生物化学科

* P-006 カビ由来paxillineおよび類縁体によるマクロファージ活性の抑制

○松井知野¹⁾、櫛田伸明²⁾、國定孝夫³⁾、梅澤一夫¹⁾

¹⁾慶應義塾大学理工学部応用化学科、²⁾Meiji Seika ファルマ株式会社 医薬研究所、³⁾Meiji Seika ファルマ株式会社 バイオサイエンス研究所

- * P-007 **固相担持型SH基選択的ビオチン標識試薬の合成と低分子化合物への効率的ビオチン標識**
 ○福元謙太郎^{1,2)}、足立久美¹⁾、梶山晶大¹⁾、山崎有理¹⁾、薬師寺文華¹⁾、林良雄¹⁾
¹⁾東京薬科大学薬学部、²⁾国産化学(株)
- P-008 **ハイポキシアを標的とした抗がん剤の探索**
 ○小郷尚久^{1,2)}、海野雄加¹⁾、鈴木紳之²⁾、津金桃実³⁾、山崎竜太³⁾、丹治健一⁴⁾、浅井章良¹⁾
¹⁾静岡県立大学大学院薬学研究科、²⁾静岡県環境衛生科学研究所、³⁾ヤクルト本社中央研究所、⁴⁾静岡県立大学食品栄養科学部
- P-009 **表現型を指標にしたM期阻害化合物の探索**
 ○澤田潤一¹⁾、塩田良²⁾、松野研司¹⁾、浅井章良¹⁾
¹⁾静岡県立大学大学院 薬学研究科 創薬探索センター、²⁾パーキンエルマー ジャパン
- P-010 **幹細胞におけるHes1-FA相互作用の機能解明を目指した天然由来阻害剤の探索**
 荒井 緑¹⁾、○植村健二¹⁾、小谷野喬²⁾、Thaworn Kowithayakorn³⁾、石橋正己¹⁾
¹⁾千葉大学大学院薬学研究院、²⁾テムコ、³⁾コンケン大学農学部
- P-011 **神経幹細胞で働く転写因子Hes1ビーズを用いる活性天然物の迅速的探索**
 荒井 緑¹⁾、○石川直樹¹⁾、小谷野喬²⁾、Thaworn Kowithayakorn³⁾、石橋正己¹⁾
¹⁾千葉大学大学院薬学研究院、²⁾テムコ、³⁾コンケン大学農学部
- * P-012 **固相コンビナトリアル法を用いた希土類蛍光プローブの開発**
 ○中村竜也¹⁾、水上進^{1,2)}、菊地和也^{1,2)}
¹⁾大阪大学大学院工学研究科、²⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター
- P-013 **ケミカルスクリーニング推進に向けた基盤構築**
 –東京医科歯科大学での試み–
 ○湯浅磨里、奥野友紀子、影近弘之
 東京医科歯科大学 疾患生命科学研究所
- * P-014 **HIV外被タンパク質gp41-C34 3量体の合成とその抗HIV作用**
 ○橋本知恵^{1,2)}、野村渉¹⁾、大矢亜紀¹⁾、宮内浩典³⁾、鳴海哲夫¹⁾、駒野淳³⁾、山本直樹⁴⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学・疾患生命科学研究所、³⁾国立感染症研究所・エイズ研究センター、⁴⁾シンガポール国立大学・医学部
- P-015 **二核亜鉛錯体型CXCR4アンタゴニストの構造活性相関研究**
 ○尾崎太郎^{1,2)}、田中智博¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、相馬晃¹⁾、橋本知恵^{1,2)}、野村渉¹⁾、村上努³⁾、山本直樹⁴⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究所、³⁾国立感染症研究所・エイズ研究センター、⁴⁾シンガポール国立大学

- P-016 新規HIV侵入阻害剤の創製研究: 低分子型CD4ミミック-CXCR4アンタゴニストのハイブリッド分子の設計と合成**
 ○鳴海哲夫¹⁾、落合千裕¹⁾、新井啓之^{1,3)}、吉村和久²⁾、原田恵嘉²⁾、田中智博¹⁾、野村渉¹⁾、尾崎太郎^{1,3)}、大橋南美¹⁾、松下修三²⁾、玉村啓和^{1,3)}
¹⁾ 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所²⁾ 熊本大学 エイズ学研究センター ³⁾ 東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究部
- P-017 環境応答性蛍光基を導入したprotein kinase C δ C1bドメインによるリガンド結合活性評価**
 ○大橋南美¹⁾、野村渉¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、Nancy E. Lewin²⁾、糸谷恭子¹⁾、Peter M. Blumberg²⁾、玉村啓和^{1,3)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾Laboratory of Cancer Biology and Genetics, Center for Cancer Research, NCI, NIH、³⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究部
- * **P-018 HIV外被タンパク質gp120の構造変化を誘起する低分子CD4ミミックの構造活性相関研究**
 鳴海哲夫¹⁾、○新井啓之^{1,2)}、吉村和久³⁾、原田恵嘉³⁾、野村渉¹⁾、松下修三³⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究部、³⁾熊本大学・エイズ学研究センター
- P-019 セミンタクト細胞を用いたホスファチジルイノシトール-3-リン酸の定量的可視化解析システムの構築**
 ○加納ふみ、佐藤守俊、村田昌之
 東京大学・大学院総合文化研究科
- * **P-020 α -ヘリックス指向性 RAPID ディスプレイ法による Bcl-2 阻害ペプチドの探索**
 ○樋口岳、菅裕明
 東京大学理学系研究科化学専攻生物有機化学教室
- * **P-021 Prostacyclin受容体のAllosteric modulator創薬と治療への応用**
 ○鈴木聡文¹⁾、下西学²⁾、岡部隆義³⁾、長野哲雄^{1,3)}
¹⁾東京大学大学院薬学系研究科、²⁾東京大学大学院薬学系研究科グローバルCOE、³⁾東京大学創薬オープンイノベーションセンター
- P-022 直鎖状ポリユビキチンによるNF- κ Bの活性化を制御する機能性化合物の探索**
 ○坂本裕樹¹⁾、江頭慎一郎²⁾、小島宏建²⁾、岡部隆義²⁾、下西学³⁾、徳永文稔⁴⁾、岩井一宏^{4,5)}、長野哲雄¹⁾
¹⁾東京大学大学院薬学系研究科、²⁾東京大学生物機能制御化合物ライブラリー機構、³⁾東京大学大学院薬学系研究科グローバルCOE、⁴⁾大阪大学大学院医学系研究科、⁵⁾大阪大学大学院生命機能研究科
- * **P-023 脱メチル化酵素JMJD2Aに対する阻害活性を持つ特殊環状ペプチドの探索**
 ○小嶋達矢、加藤敬行、菅裕明
 東京大学大学院理学系研究科化学専攻
- * **P-024 キノンメチド開裂を基盤とした細胞内フォシダーゼの蛍光イメージング**
 ○塚越匠¹⁾、袴田 航^{1,2)}、平野貴子²⁾、西尾俊幸^{1,2)}
¹⁾日本大学大学院 生物資源科学研究科、²⁾日本大学 生物資源科学部 生命化学科

- * P-025 シアノビニルカルバゾール修飾アンチセンス核酸による遺伝子発現制御法の開発
○滋野敦夫¹⁾、坂本隆¹⁾、藤本健造^{1),2)}
¹⁾北陸先端大 マテリアルサイエンス研究科、²⁾北陸先端大 バイオアーキテクチャー研究センター
- P-026 植物ステロイドホルモン情報伝達因子のケミカルバイオロジー研究 ~*bil*変異体群の機能解析と植物胚軸アッセイ系を用いた新しい化合物の探索
○中野雄司^{1,5)}、山上あゆみ¹⁾、嶋田勢津子¹⁾、中野明彦^{1,4)}、Joanne Chory²⁾、浅見忠男^{1,3)}
¹⁾理研・基幹研、²⁾Salk Inst.、³⁾東大・農学生命、⁴⁾東大・理、⁵⁾科学技術振興機構・さきがけ
- P-027 サリドマイド誘導体の光学異性体間の生理活性に関する考察
○徳永恵津子¹⁾、秋山秀彦²⁾、山本剛嗣¹⁾、伊藤絵美¹⁾、前野万也香¹⁾、柴田哲男¹⁾
¹⁾名工大院工、²⁾藤田保健衛生大学
- * P-028 核内トランスグルタミナーゼ活性のハイスループット測定法開発と阻害物質探索
○吉岡幸江、辰川英樹、小嶋聡一
理化学研究所 分子リガンド生物研究チーム

化学合成を基盤とした研究

- * P-029 脂質ラフトの1分子追跡実験を指向した蛍光ガングリオシドプローブの合成と機能検証2
○河村奈緒子^{1,2)}、安藤弘宗^{1,2)}、池田泰祐²⁾、鈴木健一^{2,3)}、楠見明弘²⁾、石田秀治¹⁾、木曾真^{1,2)}
¹⁾岐阜大・応用生物、²⁾京都大・iCeMS、³⁾科技振・PRESTO
- P-030 ジフェニルウレア誘導体のSUMO特異的プロテアーゼSENP-1選択的阻害活性
○高麗洋佑、宇野正治、潘鉉承、中村浩之
学習院大学理学部
- P-031 オルトカルボラン含有HIF-1 α 阻害剤の開発
安井友香、丸山美菜子、○峯岸秀充、潘鉉承、清水一希、中村浩之
学習院大学理学部
- * P-032 アミジン型ペプチド結合等価体の合成と応用
井ノ口恵利子¹⁾、○山田愛¹⁾、大石真也¹⁾、久保達彦¹⁾、大野浩章¹⁾、保住健太郎²⁾、野水基義²⁾、志村和也³⁾、松岡雅雄³⁾、藤井信孝¹⁾
¹⁾京都大学大学院薬学研究科、²⁾東京薬科大学薬学部、³⁾京都大学ウイルス研究所
- * P-033 アミロイド β ペプチド(A β)の凝集機構解明を目指したO-アシルイソペプチドの利用: E22 Δ 型A β およびピログルタミン酸含有A β への応用
○相馬洋平、王惠、山崎萌、平山雄太、谷口敦彦、向井秀仁、木曾良明
京都薬科大学・薬品化学分野
- P-034 siRNA-NESコンジュゲートによるbcr/abl遺伝子発現制御
○藤井政幸, Irmina Diala
近畿大学産業理工学部生物環境化学科

- P-035 **ノンセコ型VDRリガンドの創製およびVDRとの相互作用解析**
○出水庸介¹⁾、佐藤由紀子¹⁾、堀江恭平²⁾、高木健一郎²⁾、角田真二²⁾、
上村みどり²⁾、奥田晴宏¹⁾、栗原正明¹⁾
¹⁾国立医薬品食品衛生研究所・有機化学部、²⁾帝人ファーマ・生物医学総合
研究所
- * P-036 **アブシジン酸受容体アンタゴニストの創出**
○武藤拓也¹⁾、平井伸博²⁾、轟泰司¹⁾
¹⁾静岡大学農学部、²⁾京都大学大学院農学研究科
- * P-037 **ケミカルバイオロジーを指向したent-エストラジオールの合成**
○小林瞬¹⁾、山田陽子¹⁾、岡本真由美²⁾、清水功雄²⁾
¹⁾早大院先進理工、²⁾早大理工学術院
- * P-038 **疎水領域を有するDNAの合成と脂質二重膜との相互作用**
○真喜志紳吾¹⁾、柴田知範¹⁾、岡崎正嗣¹⁾、堂野主税^{1,2)}、中谷和彦¹⁾
¹⁾大阪大学・産業科学研究所、²⁾科学技術振興機構さきがけ
- * P-039 **遺伝子発現のin vivoイメージングを目指した¹⁹F MRIプローブの開発研究**
○松下尚嗣¹⁾、水上進^{1,2)}、森勇樹^{2,3)}、杉原文徳⁴⁾、白川昌宏⁵⁾、吉岡芳親^{2,3)}、
菊地和也^{1,2)}
¹⁾阪大院工、²⁾阪大免疫フロンティア、³⁾阪大院生命機能、⁴⁾京大院情報、⁵⁾京
大院工
- * P-040 **免疫制御機構解明を目指した*P. gingivalis*由来リポDの網羅的合成**
○佐伯昭典、笠松千郁、下山敦史、來山直弘、藤本ゆかり、深瀬浩一
阪大院理
- P-041 **クマリンを基本骨格とする蛍光センサーの開発研究**
○白石拓也¹⁾、久保晴子¹⁾、廣元健一¹⁾、平野智也²⁾、影近弘之^{1,2)}
¹⁾東京医歯大院疾患生命、²⁾東京医歯大生材研
- P-042 **シスアミド等価体としてのE型クロロアルケン骨格の合成研究**
鳴海哲夫¹⁾、○清家俊輔¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾
患生命科学研究部
- P-043 **N-(ベンゾイルオキシ)スルホンアミドを用いる α,β -不飽和エノンのアジリジン
化反応**
鳴海哲夫¹⁾、○宍戸美華¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾
患生命科学研究部
- P-044 **水性環境下で効率的に反応する光分解性保護基の開発研究: 8-アザクマリ
ン化合物の合成と光化学特性**
鳴海哲夫¹⁾、○神戸千秋^{1,2)}、野村渉¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾
患生命科学研究部
- P-045 **タンパク質ラベル化技術を用いた局在制御可能なK+応答性蛍光プローブの
開発**
○平田智也¹⁾、寺井琢也¹⁾、下西学²⁾、長野哲雄¹⁾
¹⁾東大院薬、²⁾東大院医薬 GCOE

- * P-046 NH₂-BODIPYを母核とした新規蛍光プローブの開発
○中島幸彦、寺井琢也、長野哲雄
東京大学大学院薬学系研究科
- * P-047 組織透過性に優れた近赤外発光を示す新規近赤外生物発光基質の論理的設計と開発
○小嶋良輔¹⁾、浦野泰照²⁾、高倉栄男³⁾、長野哲雄¹⁾
¹⁾東大院薬、²⁾東大院医、³⁾東大院理
- * P-048 低分子タンパク質相互作用解析に向けたフォトアフィニティーラベリング法の開発
○岡田あゆみ¹⁾、田和昌樹¹⁾、佐藤紀幸¹⁾、櫻井香里¹⁾
¹⁾東京農工大学
- P-049 2-アルコキシアデノシンの効率的合成法の開発
○榊原紀和、鶴田崇、岩井雅俊、小松昌裕、丸山徳見
徳島文理大香川薬
- * P-050 AMP化タンパク質の機能解明に向けたAMP化アミノ酸誘導体の創製
○小倉圭司、平川寛子、重永章、大高章
徳島大学大学院薬科学教育部
- * P-051 アルキニル C-ヌクレオシドをモノマーユニットとする人工DNAと天然DNAから成るヘテロ2重鎖の熱力学的評価
○白土渉、千葉順哉、井上将彦
富山大院薬
- * P-052 三種類の人工核酸塩基を導入したアルキニル C-ヌクレオシドの合成とそのオリゴマー化
○足土順一¹⁾、千葉順哉¹⁾、井上将彦¹⁾
¹⁾富山大院薬 薬化学研究室
- P-053 ミトコンドリア局在するニトロベンゼン誘導体からの光制御一酸化窒素遊離
○中川秀彦^{1,3)}、堀之内妙子¹⁾、鈴木孝禎¹⁾、福原潔²⁾、宮田直樹¹⁾
¹⁾名古屋市立大学大学院薬学研究科、²⁾国立医薬品食品衛生研究所、³⁾科学技術振興機構 さきがけ

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

- * P-054 久慈産琥珀由来の新規Ca²⁺シグナル伝達阻害物質の構造と生物活性
○南川裕樹¹⁾、叶躍奇²⁾、橋爪大輔²⁾、高橋俊哉²⁾、新田久男³⁾、宮川都吉⁴⁾、越野広雪²⁾、木村賢一¹⁾
¹⁾岩手大学大学院・農学研究科、²⁾理化学研究所・基幹研究所、³⁾久慈琥珀、⁴⁾広島大学大学院・先端物質科学研究科
- P-055 The kinase inhibitor SFV785 dislocates dengue virus envelope protein from the replication complex and blocks virus assembly
Azlinda Anwar¹⁾、細谷孝充²⁾、Kok Mun Leong¹⁾、小野木博³⁾、
○奥野友紀子²⁾⁶⁾、平松俊行²⁾、古山浩子⁴⁾、鈴木正昭⁵⁾、萩原正敏⁶⁾、Mariano A. Garcia-Blanco¹⁾⁷⁾
¹⁾Duke-NUS Graduate Medical School, ²⁾Department of Biomedical Science, Tokyo Medical and Dental University, ³⁾KinoPharma, Inc., ⁴⁾Graduate School of Medicine, Gifu University ⁵⁾RIKEN Center for Molecular Imaging Science, ⁶⁾Graduate School of Medicine, Kyoto University, ⁷⁾Duke University School of Medicine

- * P-056 膜透過性アルギニンペプチドの効率的細胞内移行におけるCXCR4の寄与
○田中弦¹⁾、中瀬生彦¹⁾、福田保則¹⁾、畑中保丸²⁾、二木史朗¹⁾
¹⁾京都大学化学研究所、²⁾富山大学大学院医学薬学研究部
- * P-057 GPR54リガンドによるNPFF受容体の活性化
○三須良介¹⁾、大石真也¹⁾、富田健嗣¹⁾、説田章平¹⁾、増田亮¹⁾、大野浩章¹⁾、
難波陽介²⁾、家田菜穂子²⁾、井上直子²⁾、大蔵聡²⁾、上野山賀久²⁾、
東村博子²⁾、前多敬一郎²⁾、平澤明¹⁾、辻本豪三¹⁾、藤井信孝¹⁾
¹⁾京都大学大学院薬学研究科 ²⁾名古屋大学大学院農学研究科
- * P-058 光照射によりB-Z誘起能を制御する低分子化合物の開発
○辻徹一郎¹⁾、佐々木茂貴¹⁾
¹⁾九大院薬
- * P-059 スプライシング因子SF2の核スペックル局在化阻害化合物の解析
○八木浩亮¹⁾、黒木優太郎¹⁾、松尾陽太¹⁾、江藤俊志¹⁾、萩原正敏²⁾、
五十嵐雅之³⁾、谷時雄¹⁾
¹⁾熊本大・院・自然科学・生命科学、²⁾京都大・院・医学、³⁾微生物化学研究所・
生物活性
- * P-060 (-)-DHMEQによるnoncanonical NF-kappa Bの新規阻害機構
○竹入雅敏、清水史郎、梅澤一夫
慶應義塾大学理工学部応用化学科
- P-061 イノスタマイシンによるFGF受容体-1ゴルジ体蓄積機構の解析
○田代悦、張嘉峯、井本正哉
慶應義塾大学・理工学部・生命情報学科
- * P-062 糖尿病関連タンパク α -グルコシダーゼを選択的に光分解する生体機能分子の創製
○奥澤俊介、青木優介、高橋大介、戸嶋一敦
慶應義塾大学理工学部応用化学科
- P-063 新規天然化合物Decalpenic acidはレチノイン酸受容体Rar_{gamma}を介して間葉系幹細胞における早期骨芽細胞分化マーカーの発現を誘導する
○坂本修一¹⁾、小島蒔子¹⁾、五十嵐雅之¹⁾、梅北まや¹⁾、澤竜一¹⁾、
久保田由美子¹⁾、百瀬功¹⁾、中栄功一¹⁾、安達勇光¹⁾、西村吉雄¹⁾、赤松穰¹⁾
¹⁾公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所
- P-064 血管作動性腸管ペプチドVIPの二種類の溶液条件下での構造の比較
梅津喜崇^{1,2)}、天野剛志^{1,2)}、合田名都子^{1,2)}、白川昌宏³⁾、池上貴久⁴⁾、
○廣明秀一^{1,2,5)}
¹⁾神戸大学医学研究科、²⁾名古屋大学構造生物学センター(現所属)、³⁾京都
大学工学研究科、⁴⁾大阪大学蛋白質研究所、⁵⁾神戸大学グローバル COE
「統合的膜生物学の国際教育研究拠点」
- * P-065 新規チューブリン重合阻害剤による特徴的な紡錘体微小管形成阻害作用
○石井浩介¹⁾、鈴木由美子¹⁾、澤田潤一¹⁾、松野研司¹⁾、浅井章良¹⁾
¹⁾静岡県立大学大学院薬学研究科
- P-066 プロテアソーム阻害剤としてのペラクトシンA誘導体の細胞内機能評価
○海野雄加¹⁾、中野慎太郎¹⁾、川村周平²⁾、有澤光弘²⁾、周東智²⁾、浅井章良¹⁾
¹⁾静岡県立大学大学院薬学研究科、²⁾北海道大学大学院薬学研究科

- * P-067 血糖上昇抑制／低下作用を有する[6]-gingerol類縁体の合成とアフィニティ磁性ビーズを用いた化合物結合タンパク質の探索
○岡本真由美¹⁾、入井啓行¹⁾、平本正樹²⁾、安田和基²⁾、清水功雄¹⁾
¹⁾早稲田大学先進理工学部応用化学科、²⁾国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター代謝疾患研究部
- P-068 Benzoylpiperidine-based SCD inhibitors as lipid metabolism modulators
○宇都芳一、緒方恒暉、小西正博、上野悠子、清塚洋平、宮沢由里子、蔵田等司、大隅潤
第一三共株式会社 研究開発本部
- * P-069 オーリピロン類をリガンドとした各種プローブの合成研究
○竹村拓馬、田邊智史、早川一郎、木越英夫
筑波大学大学院 数理物質科学研究科 化学専攻
- * P-070 抗腫瘍活性物質アプリロニンA の作用機序に関する研究
○平山裕一郎、米田耕三、藤沢亮介、北将樹、木越英夫
筑波大学・大学院数理物質科学研究科・化学専攻
- P-071 タンパク質に隠された生理活性ペプチド「クリプタイド」が関わる新しい生体調節機構
○向井秀仁^{1,2)}、保莉義則³⁾、関哲郎³⁾、深水昭吉³⁾、木曾良明^{1,2)}
¹⁾長浜バイオ大学ペプチド科学研究室、²⁾京都薬科大学薬品化学分野、³⁾筑波大学生命環境科学研究科
- * P-072 スプライシング阻害剤GEX1Aの標的タンパク質とそのリン酸化修飾の解析
○棚橋一晃¹⁾、葛谷晃司¹⁾、三浦達拓¹⁾、小坂葉子¹⁾、吉田哲郎²⁾、吉田稔³⁾、佐々木隆造¹⁾、水上民夫¹⁾、長谷川慎¹⁾
¹⁾長浜バイオ大学・院、²⁾協和発酵キリン(株)、³⁾理研・基幹研
- * P-073 タモキシフェン誘導体のプロテアソーム阻害作用の評価
○安田ゆかり¹⁾、中田健也²⁾、梅田絵梨²⁾、王エンブン²⁾、椎名勇²⁾、佐々木隆造¹⁾、水上民夫¹⁾、長谷川慎¹⁾
長浜バイオ大学・院¹⁾、東京理科大学理学部応用化学科²⁾
- P-074 細胞表面におけるCXCR4二量体構造解析のための堅固なリンカーを有する二価型リガンドの開発
野村渉¹⁾、田中智博¹⁾、○相馬晃¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、増田朱美^{1,2)}、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学部
- P-075 細胞内タンパク質可視化を目的としたタグ・プローブシステムの創製
○森あつみ¹⁾、野村渉¹⁾、大橋南美¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、堤浩¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学部
- P-076 サリドマイド標的因子セレブロンの機能解析
○伊藤拓水¹⁾、安藤秀樹²⁾、山口雄輝²⁾、半田宏^{1,2)}
¹⁾東京工業大学ソリューション研究機構、²⁾東京工業大学 大学院生命理工学研究科
- * P-077 サリドマイド標的タンパク質CRBNに結合する因子の解析
○坂田未希¹⁾、伊藤拓水²⁾、岸努¹⁾、安藤秀樹¹⁾、山口雄輝¹⁾、半田宏^{1,2)}
¹⁾東京工業大学 大学院生命理工学研究科、²⁾東京工業大学ソリューション研究機構

- * P-078 **Vitamin K2によるがん細胞のアポトーシス誘導機構の解明**
 ○唐澤慧記¹⁾、東基記¹⁾、宮澤啓介²⁾、坂本聡¹⁾、加部泰明³⁾、半田宏^{1,4)}
¹⁾東京工業大学 大学院生命理工学研究科 生命情報専攻、²⁾東京医科大学 医学部 生化学講座、³⁾慶應義塾大学 医学部 医化学教室、⁴⁾東京工業大学 ソリューション研究機構
- * P-079 **セミインタクト細胞を用いたRab6Aのゴルジ体ターゲティングの再構成およびそのターゲティング機構の解析**
 ○松戸真理子¹⁾、加納ふみ^{1,2)}、村田昌之¹⁾
¹⁾東大・院総合文化、²⁾JST さきがけ
- * P-080 **硫化水素 (H₂S) 選択的蛍光プローブの開発**
 ○篠倉潔¹⁾、花岡健二郎¹⁾、長野哲雄¹⁾
¹⁾東京大学大学院薬学系研究科
- P-081 **分子プローブを利用したRBL-2H3細胞からの Vialinin類標的タンパク質の単離**
 ○岡田潔¹⁾、叶躍奇²⁾、谷口佳代子³⁾、吉岡泰淳²⁾、小野瀬淳一²⁾、矢島新³⁾、越野広雪⁴⁾、高橋俊哉⁴⁾、菅谷紘一²⁾、吉田稔⁴⁾、阿部尚樹²⁾、矢嶋俊介¹⁾
¹⁾東農大応生科・バイオ、²⁾東農大応生科・栄養、³⁾東農大応生科・醸造、⁴⁾理研
- * P-082 **微小管作用薬Plinabulinのケミカルプローブの開発とそれらを利用した結合様式解析**
 ○山崎有理¹⁾、城戸結衣¹⁾、増田優里香²⁾、日高興士²⁾、安井裕之²⁾、木曾良明²⁾、薬師寺文華¹⁾、林良雄¹⁾
¹⁾東京薬科大学薬学部、²⁾京都薬科大学
- P-083 **生理活性化合物の標的タンパク質を同定する「超安定型リボソームディスプレイ法」の開発**
 ○和田章^{1,2)}、山口忍¹⁾、長田裕之¹⁾
¹⁾理化学研究所 基幹研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設、²⁾科学技術振興機構 さきがけ
- * P-084 **ケミカルゲノミクスによる海洋天然物Theonellamideの作用機序解析**
 ○有田祐子^{1,2)}、西村慎一³⁾、八代田陽子¹⁾、松山晃久¹⁾、松永茂樹⁴⁾、吉田稔¹⁾
¹⁾理化学研究所基幹研究所ケミカルゲノミクス研究グループ、²⁾立教大学未来分子研究センター、³⁾京都大学大学院薬学研究科、⁴⁾東京大学大学院農学生命科学研究科
- * P-085 **新規蛍光プローブを用いた生細胞におけるヒストンアセチル化の動態解析**
 ○伊藤環^{1,2,5)}、伊藤昭博^{1,2,3)}、梅原崇史⁴⁾、佐々木和樹¹⁾、中村祥浩⁴⁾、寺田貴帆⁴⁾、白水美香子⁴⁾、バラサンダラムパドマナハン⁴⁾、川崎寿⁴⁾、横山茂之⁴⁾、吉田稔^{1,2,3)}
¹⁾理研・吉田化学遺伝学、²⁾理研・基幹研・ケミカルゲノミクス、³⁾CREST, JST、⁴⁾理研・生命分子システム基盤研究領域、⁵⁾東京電機大・院工
- * P-086 **ケミカルバイオロジーを活用した抗癌剤開発と癌予防研究**
 ○飯泉陽介¹⁾、後居和佳奈¹⁾、谷口知行¹⁾、大石正勝^{1,2)}、曾和義広¹⁾、酒井敏行¹⁾
¹⁾京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的癌予防医学、²⁾泌尿器外科学

分子間相互作用

- * P-087 重水素交換と質量分析によるGAPDHーリガンド相互作用の構造学的解
○山本竜也^{1,2)}、加部泰明^{1,2)}、末松誠^{1,2)}
¹⁾末松ガスバイオロジープロジェクト・ERATO・JST、²⁾慶應大学医学部
- P-088 4-フルオロインドール誘導体を用いたDNA修復酵素の基質認識特性の解明
○小堀哲生^{1,3)}、Paige McKibbin²⁾、谷口陽祐³⁾、Sheila S. David²⁾、
Eric T. Kool³⁾
¹⁾京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科生体分子工学部門、²⁾カリフォルニア大学化学科、³⁾スタンフォード大学化学科
- P-089 Alamethicinをベースにした金属イオン感受性人工イオンチャネルの創製
○能代大輔、浅見耕司、二木史朗
京都大学化学研究所
- * P-090 新規小分子蛍光ラベル法を用いた β_2 アドレナリン受容体の生体膜における会合状態の解析
○河野健一、矢野義明、松崎勝巳
京都大学大学院 薬学研究科 薬品機能解析学分野
- P-091 吸光度法によるアミノ酸計測用バイオセンサー
○釘宮章光、松崎絵美
広島市立大学社会連携センター
- * P-092 フシコクシン誘導体によるリン酸化ペプチド依存性14-3-3たんぱく質の蛍光標識化
○高橋道子¹⁾、河村明恵¹⁾、加藤修雄¹⁾、西毅¹⁾、浜地格²⁾、大神田淳子¹⁾
¹⁾大阪大学産業科学研究所、²⁾京都大学大学院工学研究科
- * P-093 ヘリコバクター・ピロリの産生する毒素VacAに対するペプチドアプタマーの開発
○松野充宏¹⁾、井上有香¹⁾、土井公太¹⁾、和田昭裕²⁾、西垣功一³⁾、
北村幸一郎⁴⁾、武居修⁵⁾、長谷川慎¹⁾
¹⁾長浜バイオ大学・院、²⁾長崎大学熱帯医学研究所、³⁾埼玉大学大学院理工学研究科、⁴⁾ジェナシス株式会社、⁵⁾株式会社ライフテック
- * P-094 抗菌ペプチドと菌体膜との新しい相互作用解析手法の検討
○土井公太¹⁾、須釜菜佳¹⁾、井上有香¹⁾、松野充宏¹⁾、和田昭裕²⁾、一瀬休生²⁾、
Euis Maras Purwati³⁾、原利明³⁾、相本三郎³⁾、長谷川慎¹⁾
¹⁾長浜バイオ大学・院、²⁾長崎大学熱帯医学研究所、³⁾大阪大学蛋白質研究所
- P-095 配列特異的DNA切断の化合物による制御法の開発
○野村渉¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学部
- * P-096 亜鉛フィンガーヌクレアーゼを用いたEBウイルス弱毒化に関する研究
野村渉¹⁾、近藤麻美²⁾、○ト部亜里沙¹⁾、増田朱美^{1,3)}、梁明秀²⁾、玉村啓和^{1,3)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾横浜市立大学・医学部、³⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学部
- * P-097 Methyl gerfelinをリードとしたGLO1選択的破骨細胞分化阻害剤の合成と評価
○鈴木貴大¹⁾、高山浩¹⁾、川谷誠²⁾、長田裕之²⁾、岩渕好治¹⁾、叶直樹¹⁾
¹⁾東北大学・大学院薬学研究科、²⁾理研・基幹研・ケミカルバイオロジー研究基盤施設

- * P-098 光異性化ヘリカルペプチドとDNAとの相互作用の光制御
○梶野雅起、藤本和久、井上将彦
富山大院薬
- * P-099 光化学的蛍光ラベル化を目的とした発蛍光性ATPプローブの開発
○猪ノ口裕二、増田宗太、友廣岳則、畑中保丸
富山大院薬

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

- * P-100 Using ¹⁹F NMR to Probe Changes in Structure and Dynamics of Membrane-Active Peptides Interacting with the Lipid Bicelles
○Yuta Suzuki¹⁾, Benjamin C. Buer¹⁾, Hashim M. Al-Hashimi^{1,2)}, E. Neil G. Marsh^{1,2,3)}
¹⁾Department of Chemistry, ²⁾Biophysics, and ³⁾Biological Chemistry, University of Michigan
- * P-101 近赤外生物発光イメージングを目指したν-セレンテラジンの高効率合成法の開発
飯森理絵¹⁾、○隅田有人²⁾、吉田優²⁾、佐原由依子³⁾、佐藤淳一³⁾、井上敏³⁾、細谷孝充^{1,2)}
¹⁾東工大院生命理工、²⁾東医歯大院疾患生命・生材研、³⁾チッソ横浜研
- * P-102 かさ高い芳香族アジドによるクリック反応の高速化
○菅野貴美幸¹⁾、吉田優²⁾、白石旭¹⁾、松下武司³⁾、上本紘平⁴⁾、植草秀裕⁴⁾、細谷孝充^{1,2)}
¹⁾東工大院生命理工、²⁾東医歯大院疾患生命・生材研、³⁾チッソ石化、⁴⁾東工大院理工
- * P-103 His リアクティブタグによる細胞での選択的ラベリング
○内之宮祥平¹⁾、藤島祥平¹⁾、野中洋¹⁾、王子田彰夫²⁾、浜地格¹⁾
¹⁾京大院工、²⁾九大院薬
- * P-104 アントラキノン-ポロン酸ハイブリッド分子による敗血症関連糖脂質LPSの光分解
○三浦拓也、高橋大介、戸嶋一敦
慶應義塾大学理工学部応用化学科
- P-105 アセチルコリン受容体結合ペプチドによる蛋白質の神経細胞導入に関する研究
○堀雄一郎¹⁾、江頭有佳¹⁾、村松慎一²⁾、菊地和也^{1,3)}
¹⁾大阪大学大学院工学研究科、²⁾自治医科大学、³⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター
- P-106 変異体β-ラクタマーゼをタグとする細胞内タンパク質ラベル化法の開発
○秋元悠里¹⁾、水上進^{1,2)}、菊地和也^{1,2)}
¹⁾大阪大学大学院工学研究科、²⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター
- * P-107 ヒストン修飾酵素活性検出のための新規蛍光プローブの開発に関する研究
○馬場玲輔¹⁾、堀雄一郎¹⁾、菊地和也^{1,2)}
¹⁾大阪大学大学院工学研究科、²⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター
- * P-108 高い反応効率をもつ亜鉛フィンガー融合型DNA組換え酵素の構築
○増田朱美^{1,2)}、野村渉¹⁾、卜部亜里沙¹⁾、玉村啓和^{1,2)}
¹⁾東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学部

- P-109 ケージドビオチンを用いた光照射部位選択的薬剤放出システムの開発
○寺井琢也、牧英里、長野哲雄
東京大学大学院薬学系研究科
- * P-110 動脈硬化薬の可視化を目指したMRIプローブの開発と応用
○花岡健二郎¹⁾、山根健浩¹⁾、村松泰明¹⁾、田村啓太²⁾、足立雄哉²⁾、宮下保司²⁾、平田恭信³⁾、長野哲雄¹⁾
¹⁾東京大学大学院薬学系研究科、²⁾東京大学大学院医学系研究科、³⁾東京大学医学部附属病院
- * P-111 新規プロテアーゼ活性検出蛍光プローブの開発と高感度がん*in vivo*イメージング
○坂部雅世¹⁾、小坂信行²⁾、光永誠²⁾、小川美香子³⁾、Peter Choyke²⁾、浅沼大祐¹⁾、神谷真子⁴⁾、長野哲雄¹⁾、小林久隆²⁾、浦野泰照⁴⁾
¹⁾東京大学大学院・薬学系研究科薬品代謝化学教室、²⁾NIH、³⁾浜松医科大学、⁴⁾東京大学大学院・医学系研究科生体情報学教室
- * P-112 タンパク質の選択的ラベル化を目指したOff/On型蛍光プローブの開発
○平林和久¹⁾、花岡健二郎¹⁾、下西学²⁾、長野哲雄¹⁾
¹⁾東大院薬、²⁾東大院薬 GCOE
- * P-113 細胞膜透過性を制御したMatrix Metalloproteinase活性検出蛍光プローブの開発
○明珍琢也、花岡健二郎、長野哲雄
東大院薬
- * P-114 フェロセン連結 DNA プローブによる APOBEC3G 酵素反応の電気化学的評価
○佐藤仁志¹⁾、千葉順哉¹⁾、河野隆英²⁾、松尾浩²⁾、井上将彦¹⁾
¹⁾富山大院薬、²⁾ミネソタ大理
- * P-115 ラマン顕微鏡を用いたDNA合成プローブEdUの生細胞イメージング
○山越博幸^{1),2)}、閻闡孝介^{1),2)}、Palonpon Almar^{1),3)}、岡田昌也³⁾、安藤潤^{1),2),3)}、藤田克昌^{1),3)}、河田聡^{2),3)}、袖岡幹子^{1),2)}
¹⁾JST-ERATO、²⁾理化学研究所 基幹研究所、³⁾大阪大学院 工学研究科

その他

- * P-116 ラット脳内D2/D3受容体PETイメージングに関する^[11C]racloprideおよび^[11C]-(+)-PHNOを用いた比較検討
○伏木洋司、岩下明令、村上佳裕、野田昭宏、佐々木弘、西村伸太郎
アステラス製薬バイオイメージング研究所
- P-117 Chemical transcriptomic analysis illuminates a class of anticancer sulfonamide derivatives undergoing clinical investigation
○Takashi Owa, Rie Ushijima Sugano, Akira Yokoi, Yoichi Ozawa, Takatoshi Kawai, Makoto Asada, and Junro Kuromitsu
Oncology Product Creation Unit, Eisai Co., Ltd.
- * P-118 金属イオンによって安定化されるジピコリルアミン骨格含有単鎖ヘリックス性ペプチドの設計と合成
○東佑翼、今井晴賀、今西未来、吉村智之、川端猛夫、二木史朗
京都大学化学研究所

- P-119 ReSCUE a novel mechanism for rapid recovery of SR protein phosphorylation after heat shock
○二宮賢介、片岡直行、萩原正敏
京都大学大学院医学研究科
- * P-120 Stard10/PCTP-Lノックアウトマウスを用いた機能解析
○田邊思帆里¹⁾、伊藤雅方²⁾、中瀬古寛子²⁾、佐藤陽治¹⁾、杉山篤²⁾、赤羽悟美²⁾
¹⁾国立医薬品食品衛生研究所、²⁾東邦大学医学部薬理学講座
- * P-121 メベンダゾールによる網膜発生障害のケモゲノミクス
○今鉄男¹⁾、西村有平^{1,2,3,4)}、梅本紀子¹⁾、張孜¹⁾、黒柳淳哉¹⁾、島田康人^{1,2,3,4)}、田中利男^{1,2,3,4)}
¹⁾三重大学大学院医学系研究科薬理ゲノミクス、²⁾三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター、³⁾三重大学ベンチャービジネスラボラトリー ケモゲノミクス、⁴⁾三重大学生命科学研究支援センター バイオインフォマティクス
- P-122 主要組織適合遺伝子複合体(MHC)分子の立体配座コード構造相同性解析
○和泉 博¹⁾、ローレンス ネイフィー^{2,3)}、リナ デュコア³⁾
¹⁾独立行政法人産業技術総合研究所、²⁾シラキュース大学、³⁾バイオツールズ
- * P-123 可逆的DNA光クロスリンクオリゴによるDNAナノ構造の安定性制御
○中村重孝¹⁾、坂本隆¹⁾、藤本健造^{1,2)}
¹⁾北陸先端大マテリアルサイエンス研究科 ²⁾北陸先端大バイオアーキテクチャーセンター